

# 安全作業手順書【BOX上部清掃】

見振り基準をした危険性の評価			
可能性(A)	重大性(B)	危険性の評価	
	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見振り	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛鳥北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具 ・車両	スコップ、ホウキ、塵取り、てみ、土嚢袋、発電機、掃除機、ワイヤーブラシ、サンダー、塗料、ハケ、ペール缶	保護具	ゴム手袋・皮手袋、軍手、保護マスク、保護メガネ 安全くつ、ヘルメット、安全チョッキ、墜落制止用器具

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見振り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見振り		
			(~なので~になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はどうする)			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所、車線、及び交差道路の状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う 交通規制状況を確認する しらすんだ一動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 作業前に 必ず当日の規制簿を使用して 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう 直下の交差道路に物が落ちて一般車にあたる 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする / 電池が切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△ ○ △ △ △	× × × × ×	4 3 4 4 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両カバーを確認する 落下防止養生や監視員を配置する 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う / 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○ ○ ○ ○ ○	○ △ ○ ○ ○	1 2 1 1 1			
	車両確認													
	作業車両準備													
	作業車両点検													
	出発準備													
本作業	出発			25.車両回送手順書に則る										
	規制内進入													
	車両移動													
	停止													
	逸走防止													
	使用機器等 準備	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれて気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△ △	△ △	3 3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○ △	△ △	2 2			
	清掃作業	ホウキ、掃除機等でBOX上部箇所を清掃する	周囲の状況に十分注意して 手袋などを着用して 親綱を張り墜落制止用器具を使用して	水切板の隙間から小石等が落下し第三者被害の恐れ 土嚢袋に土砂の入れすぎで身体を濡める 清掃中、体勢を崩してBOXから落下する	△ △ △	× △ ×	4 3 4	現地状況に応じて下場の規制を実施し、上空監視員を配置する 土嚢袋には土砂を8割程度に抑えて入れる 墜落制止用器具を正しく使用する	○ ○ ○	○ ○ ○	1 1 1			
	ケレン作業	遮音壁支柱周りワイヤーブラシ、水切り板はサンダー等で作業する ケレン作業発生材を清掃する	手元には十分注意して 保護メガネ及び手袋を着用して 周囲への飛散に十分注意して	サンダーの跳ね返りによりケガをしてしまう サンダー使用中飛散物が目に入る ケレン発生材の清掃を怠り 塗料の剥がれや品質低下が生じる	△ △ △	△ × △	3 4 3	皮手袋、保護具を着用し、両手でしっかり持ち使用する 保護メガネを着用する ケレン作業後は必ず清掃を行ってから塗装作業を行う	○ ○ ○	○ ○ ○	1 1 1			
	塗装作業	ハケ、ペール缶を使用し作業する	マスクを着用して ペール缶に入れないように	塗料の匂いを吸引してしまい気分が悪くなる 塗料をこぼし一般道へ飛散し第三者被害の恐れ	△ △	△ △	3 3	保護マスクを着用する 塗料はペール缶の5割以下に抑えて入れる	○ ○	○ ○	1 1			
	発生材横込 (土砂)	発生材を荷台に積み込む	①周囲の状況に十分注意して ②必ず上流監視員を配置して	後方の走行車両に気づかず追突・接触される	△	×	4	作業時は必ず一人監視員を配置し周囲に注意して作業を行う	△	○	2			
仕上げ	発生材や道具を片付ける 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	/ 場内に忘れ物をし 本線車両やBOX下場の車両への接触が生じる	/ ○	/ ×	/ 3	/ 必ず現場離脱前に作業エリアの確認を行う	/ ○	/ ○	/ 1				
現場離脱 及び			25.車両回送手順書に則る											
帰着														
駐車														
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/				
1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。													
特記事項	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に置き置く。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1			

